

カウス・アウストラリス





はじめまして有子です。

久々の同人誌……！なかなかペース掴めなくて大変だったような……。

AW本です。川原先生の物語は一度でもネトゲにハマった経験がある人間には回避できない面白さなわけでした。

みんなでワイワイやってるところが一番好きなので、小説準拠のメンバーになりました。

今回はチユと黒雪姫先輩で迷ったんですが、

先輩のハルラブが必死過ぎてですね……可愛すぎて可哀想という上手く言えないこの気持ち的な！！

貧乳ヒロイン本は久々ですが、おっばいに貴賤無しということでひとつ。

それでは、少しでも楽しんでいただければ幸いです。



くはー!

今週の領土戦
レギオン
しゅうりよ〜!
お疲れ様っ



このまま
ドツカンドツカン
いっっちゃおうよ☆



ねえねえ
そこそこ安定して
勝てるようになって
きた感じしない?!



勘弁して
くれよ...

姉さん
連れて行って!!

いいなあ
私も前線に行って
みたいなあ

Uーチュリさんは
ギューンの怖さを
知らないのです...



ふふ
後方の憂いなく
突っ込めるのは
やはり楽しいですね

ふおおお...

2046年7月3日
18:25



そろそろ失礼しないと
いけない時間だな

物足りませんが
仕方ないですね

あれでも……

ちえーっ

Uー来週はもっと
頑張るです!

ハルー
宿題忘れんなよー



じゃーな

おばさんに
宜しく

お邪魔しました



また明日ね



ハル!

『また明日』

明日が来るのが楽しいだなんて
一体いつ以来のことだろう

自分が変わった
わけじゃない

……相変わらず僕は
ダメなままで

もし

変わったとすれば
あの人の――

『もっと加速してみたくはないか？』

アレには
びっくりしたなあ

……
っと

サクッと片づけて
今日早く寝るかあ

これはキッチンで
いいのか？

ン



片付けるんだらう?

ン?

あ ハイ...

先輩!

先輩!

先輩!



上の空でいると
思っていたら

思考速度が
10分の1になって
いたのか

は
は
は
は



まさか...

先輩

またフィジカル・
フル・バースト

バカかキミは



何を考えて
いたんだい?

は
は
は
は

——みんなと居て
楽しそうなキミを
見ているのは嬉しいが

私はもっと……

先輩？

——そうで
なくとも

近頃は油断
ならん輩が

増えて
来ると
いうのに……

痛

い

キミは拾ってくる
猫を片っ端から
餌付けするのが
趣味なのか!?

おは

猫?!

何の話?!

わ私は

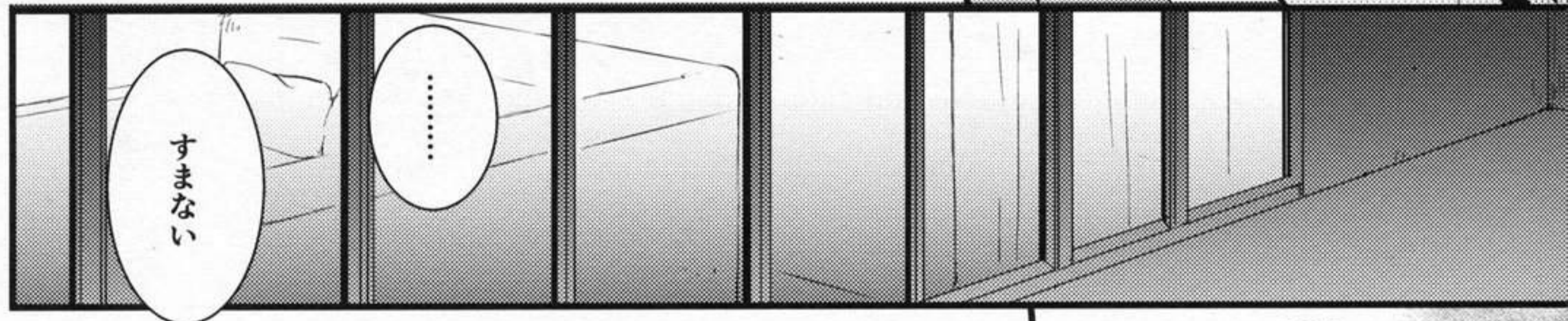
キミのっ

恋……

ドキドキドキ



勿論ですよ!!





……どうか
しているだろうか？

私は

おかしく
ないです！

ぼ 僕だって

僕は
先輩のモノです！

そう誓ったんです



そして
私とだけ

永遠に



みんなと
一緒にいる
ときだって

先輩の

っ



そうだな

キミは
私のモノだ

心も

体も

キスは
いつぶりだったかな

は
ま
せ
ん
ほ



キミとなら
怖くないよ



……大丈夫

私も同じだ



しても



その

その

コトを



これって
じつは





だ
大丈夫です

僕

小さいのも
大好きですから

……って



見せるほどの
モノではないのだ……

まっ

だから

ms...



ちっ
ちっ
ちっ

あ



コホー
残念だが
キミには任せて
置けない

不本意ながら
私が主導させて
もらおう

すみませ



えええええ
えええええ

静かに
したまえ

ちよ
ちよっと
……!



……もういら

キミに繊細な
情緒心理問題の
理解を求めたのが
間違いだった

まったく
今まで私が
どれだけ

むー

あ



……これが実物



……っ

びびる



もしか

えっ

これって

ちよー!

ウソおお!!

カチカチ

カチカチ

カチカチ



びびる



何この
生殺し感!!

匂い……は
何か変な感じ
なんだな

……形は
一精だな

は
恥ずかしい

うわあ

この……
透明な液が
カウパーか



ダメだ

あや

あや

あや

いっそ
ひと思いに



あ

ヤバ

……味は
どんな

まずい
だって





バカッ

何聞いてんだよ!

かあ
あ

触ります…ね



…下着も
黒なんです

ん
おかしい…か?

うわ…シミが
ストッキングまで

大人っぽくって
素敵です!!



キミだって
そうだったろうっ



濡れてるって
いうか…

水浸しだ…

すごっ…
ヌルヌル
してます



爪が…
で伝線
しちゃいました



すみませんっ!



……これで
気に病む必要も
無いだろう

おっ
おっ
おっ
おっ
おっ

着替えは
持っている

大丈夫だ



——そういっ
問題じゃない
気もするんだけど

そりゃ
僕だって
限界だし

先輩がここまで
してくれてるんだ

き 期待に
答えないと……っ



あ……中
暖かくて
ヌルヌルだ……っ

……これって
早く先に進めって
コトなんだろうか

気持ちイイのかな

チヤッ
チヤッ







先輩にばかり
任せてしまって…

…先輩
もう 大丈夫です
…すみません

ハル…
ユキくん…



ボクですら
痛いぐらいなのに

き 気持ち…
イイ…か…?

キ…
キッ…ッ

先輩は
もっと…っ



いくらか
な 馴染んで
きた…ようだ

な なんか…っ
へんな…
感じた



…少し
動きますね

辛かったら
言って…下さい

んっ
だ 大丈夫…っ



……不安なら
確かめれば
良かったんだ

……



これ
イイですか？



体温を
分けあって



皮膚に触れて





ARESTICA

2012 / 06 / 24

有子瑤一 / Youichi Ariko

mail:arestica@gmail.com * hp: <http://arestica.com/>

print:ねこのしっぽ

※禁・無断転載/複製/複写/インターネット上へのアップロードはご容赦下さい。
※この本は個人の趣味で作成した二次創作物です。版元・制作会社様とは一切関係ありません。